

第2学年の保護者の皆様

苫小牧市立青翔中学校長 中川 恵介

平成29年度苫小牧市統一学力検査の結果等について

秋冷の候、保護者の皆様におかれましては、ますます御清栄のことと拝察申し上げます。

また、日頃から本校の教育活動に対しまして、御理解と御協力をいただき感謝申し上げます。

さて、4月19日（水）に実施しました苫小牧市統一学力検査の個人票（結果）につきましては、過日、お子さんを通して、各御家庭に配付したところですが、このほど本校の結果と考察がまとまりましたので、次のとおりお知らせします。

なお、「平成29年度苫小牧市統一学力検査の結果等」につきましては、苫小牧市立青翔中学校ホームページに掲載しております。[\(http://www.city.tomakomai.hokkaido.jp/gakko/seisho/\)](http://www.city.tomakomai.hokkaido.jp/gakko/seisho/)

記

1 検査の概要

(1) 実施日

平成29年4月19日（水）

(2) 調査対象

市内中学校第2学年

(3) 検査内容等

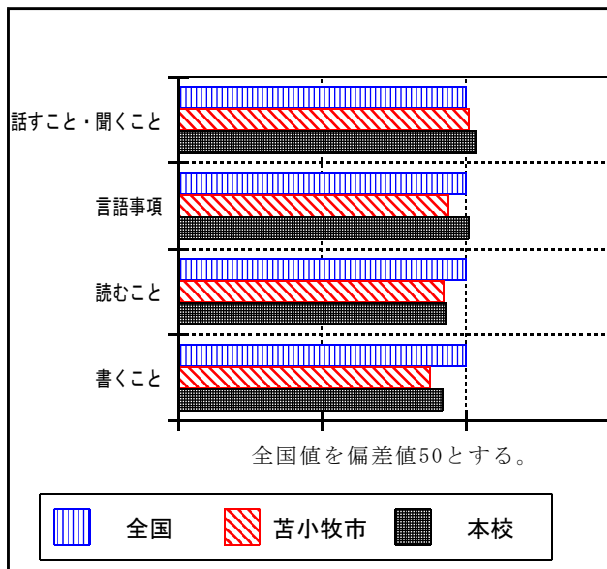
- ① 国語科及び数学科の2教科の学力検査を実施（出題範囲は前学年の学習内容）
- ② 全国学力調査（集団準拠評価）を実施

2 本校の結果と考察

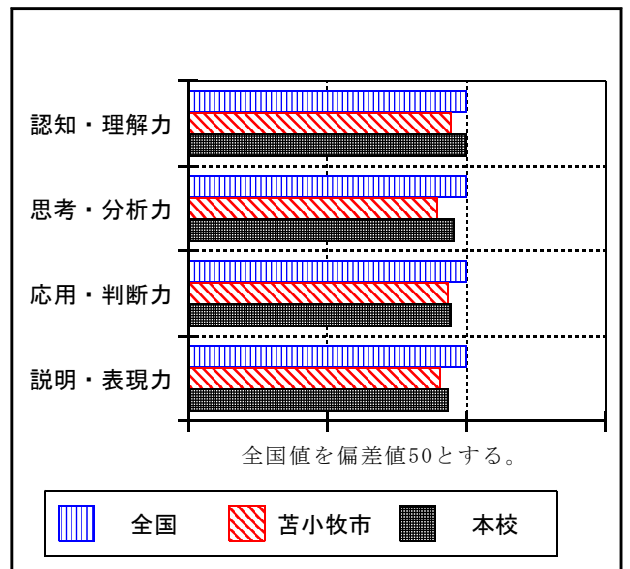
(1) 国語科

①領域別（※2）及び能力別（※3）の偏差値SS（※1）における全国との比較

【領域別】

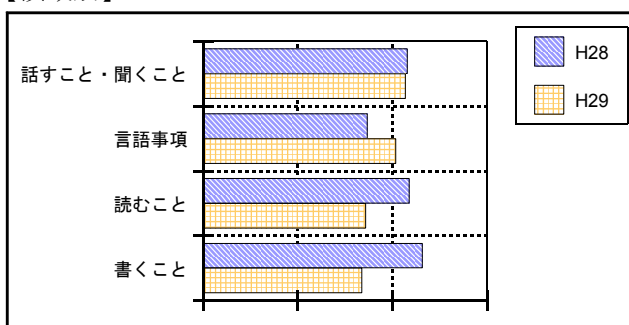


【能力別】

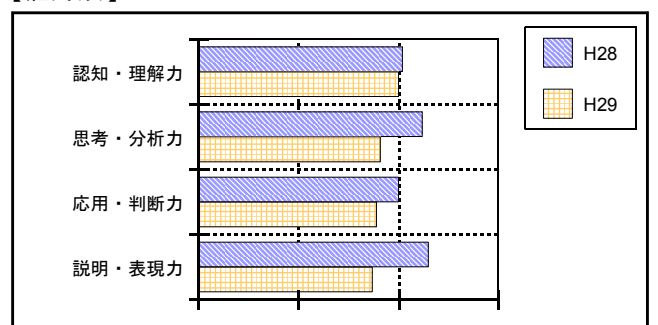


②昨年度（同一集団である平成28年度中学校1年時）との比較

【領域別】



【能力別】



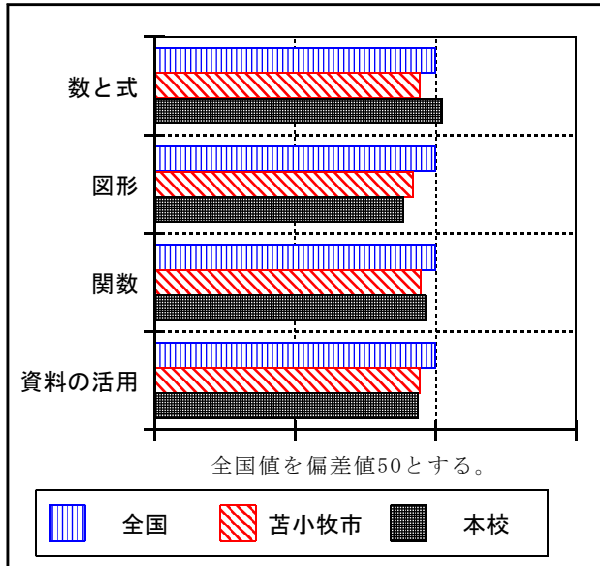
③考察

- * 教科総合は全国値とほぼ同等であり、偏差値分布においては、中間下位層が多く、上位層が少ない状態である。
- * 領域別では「話すこと・聞くこと」「言語事項」「読むこと」は全国値とほぼ同等である。「書くこと」は全国値を下回っている。能力別では「認知・理解力」「思考・分析力」「応用・判断力」「説明・表現力」において全国値とほぼ同等である。
- * 昨年度（同一集団である平成28年度中学校1年時）との比較して、領域別では「話すこと・聞くこと」は昨年とほぼ同等、「言語事項」は昨年を上回っており成果がうかがえる。「読むこと」「書くこと」は昨年を下回っている。また、能力別では「認知・理解力」は昨年とほぼ同等である。「思考・分析力」「応用・判断力」「説明・表現力」は昨年を下回っており、今後の指導の充実が必要である。
- * 文章の展開から主題や要旨を捉え、語句の意味を理解しながら読む力や、文章の基本構成や主語・述語の関係に注意しながら読む力をつけていくことが必要である。物語以外にも興味を広げる読書を増やすことや作文の指導を通して、文章構成や論点を明確にして書くことを重視した授業改善を目指す。

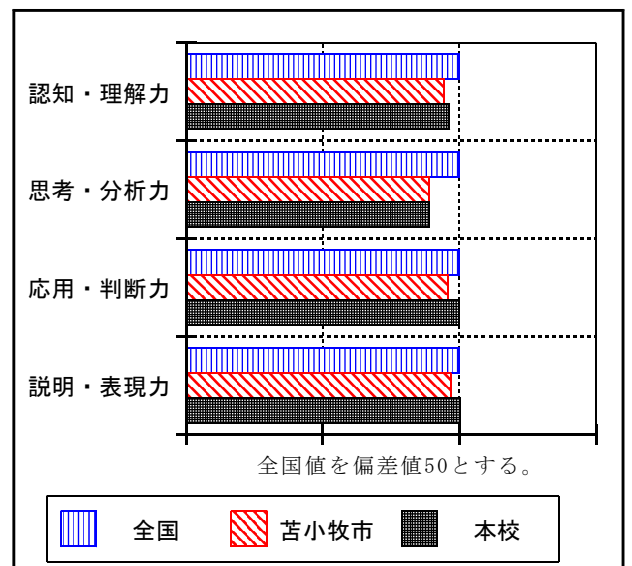
(2) 数学科

①領域別（※2）及び能力別（※3）の偏差値SS（※1）における全国との比較

【領域別】

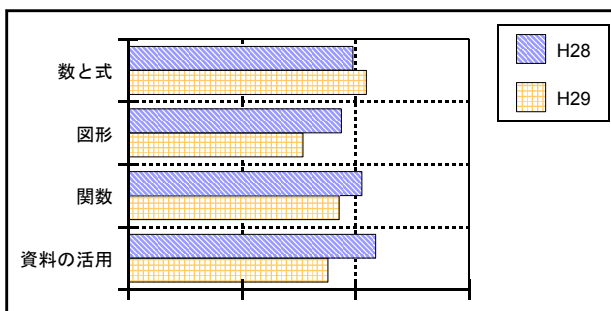


【能力別】

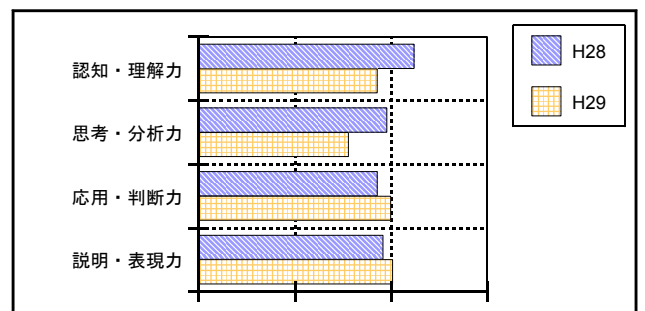


②昨年度（同一集団である平成28年度中学校1年時）との比較

【領域別】



【能力別】



③考察

- * 教科総合は全国値とほぼ同等である。偏差値分布においては、中間よりやや下位層に厚みがある状態である。
- * 領域別では「数と式」「図形」「関数」「資料の活用」が全国値とほぼ同等である。能力別では「認知・理解力」「思考・分析力」「応用・判断力」「説明・表現力」が全国値とほぼ同等である。
- * 昨年度（同一集団である平成28年度中学校1年時）との比較して、領域別では「数と式」では成果がうかがえる。「図形」「関数」「資料の活用」の3項目については下回っているため、今後の指導の充実が必要である。能力別では「認知・理解力」「思考・分析力」において昨年を下回っており、「応用・判断力」「説明・表現力」については成果がうかがえる。
- * 「図形」「関数」「資料の活用」を苦手としている生徒が多いことが推測される。「図形」では基本図形の理解を深めること、「関数」では表とグラフと式の関係を押さえること、「資料の活用」では資料や事象を表や図に表すことを重視した授業改善を進めていく。また、類似問題や演習問題に多く取り組ませ、基礎学力の定着を図ることや、学習内容を焦点化し生徒に付けたい力を明確化することにより、生徒の理解度を高める授業改善を目指す。

※1 【国語】学習指導要領が示す学習内容のまとめ（話すこと・聞くこと・言語事項・読むこと・書くこと）に基づいた学力

【数学】学習指導要領が示す学習内容のまとめ（数と式・図形・数量関係）に基づいた学力

※2 目標準拠評価における「観点」に対応する視点から設定した学力

○認知理解力：生徒がもっている知識（情報）量とその情報に基づいて単純に判断する力や処理する能力

○思考分析力：課題に応じて知識を関連付けながら推論して判断する基本的な力

○応用判断力：「思考分析力」を更に発展させ、より多くの情報や条件に基づいて、総合的に推論・判断し、問題解決する力

○説明表現力：上記の3つの能力によって導いた結論や考えを第三者に正確に、あるいはわかりやすく説明する力

※3 全国平均を50として、全体と比較し、どの程度の水準にあるかを示す数値